

新生児聴覚スクリーニング検査調査結果

Ⅲ 新生児聴覚スクリーニング検査調査結果

1 結果概要

【検査の実施状況】

- 新生児聴覚スクリーニング検査の実施については、「実施している」医療機関が85.7%である。「実施していない」とした9.2%を上回っている。
- 新生児聴覚スクリーニング検査の実施について、「今後実施を予定している」医療機関は、4.1%である。「今後実施を予定している」医療機関のうち、2年以内に実施を予定している機関は75.0%である。
- 新生児聴覚スクリーニング検査対象者は、「全数実施している」医療機関が40.5%となっており、「希望者のみ実施している」とした57.1%を下回っている。
- 新生児聴覚スクリーニング検査実施の説明時、「リーフレットを利用している」医療機関は67.9%となっており、「利用していない」とした27.4%を上回っている。

【要再検になった場合、退院時の対応】

- 退院時の対応について、「退院指導時、説明している」医療機関が53.6%となっており、「検査直後に説明しているため、退院時は検査について説明していない」とした23.8%を上回っている。

【他医療機関から、検査の受入状況】

- 新生児聴覚スクリーニング検査を実施している医療機関について、実施していない医療機関から紹介の受入について、「受けることができる」医療機関は、20.2%となっており、「受けることができない」とした70.2%を下回っている。
「受けることができるが、条件がある」医療機関は、7.1%であった。

【確認検査（新生児聴覚スクリーニング検査で、「要再検」の場合に実施）について】

- 確認検査の実施について、「実施している」医療機関は、67.9%となっており、「実施していない」とした32.1%を上回っており。
- 確認検査の実施時期について、「退院後から1か月児健診の間」とした医療機関が40.1%と最も多く、次いで「1か月児健診時」が31.6%、「入院中」が21.1%であった。

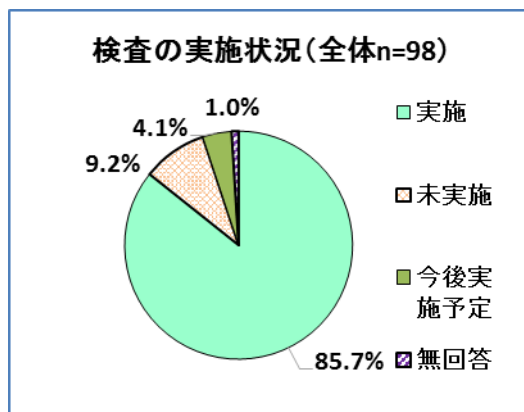
【精密検査（確認検査で、「要再検」の場合に実施）について】

- 精密検査該当児に紹介状を「発行している」医療機関は、64.9%となっており、「発行していない」とした29.8%を上回っている。
- 精密検査該当児を精密検査実施医療機関に紹介した後、受診結果を「概ね把握している」医療機関は、40.5%と最も多く、次いで「全数把握している」が21.6%、「把握していない」が21.6%であった。

2 調査結果

(1) 検査の実施状況等

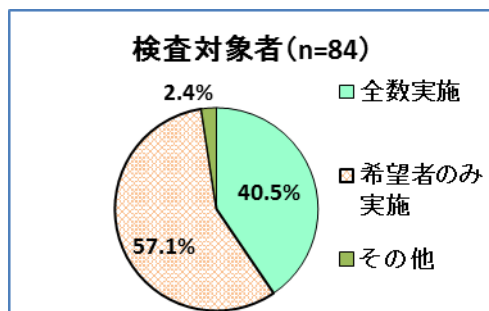
	実施	未実施	今後実施予定	無回答	計
全体	84 (85.7%)	9 (9.2%)	4 (4.1%)	1 (1.0%)	98
病院	44 (83.0%)	6 (11.3%)	2 (3.8%)	1 (1.9%)	53
診療所	40 (88.9%)	3 (6.7%)	2 (4.4%)	0	45



二次医療圏別	実施	未実施	今後実施 予定	無回答	計
横浜北部	14	1	0	0	15
横浜西部	5	1	0	0	6
横浜南部	11	0	0	0	11
川崎北部	6	2	0	0	8
川崎南部	3	0	2	1	6
相模原	8	0	0	0	8
横須賀・三浦	8	2	1	0	11
湘南東部	11	1	0	0	12
湘南西部	6	2	0	0	8
県央	8	0	1	0	9
県西	4	0	0	0	4
計	84 (85.7%)	9 (9.2%)	4 (4.1%)	1 (1.0%)	98

(2) 検査対象者 (n=84)

項目	回答数
全数実施	34 (40.5%)
希望者のみ実施	48 (57.1%)
その他	2 (2.4%)
計	84

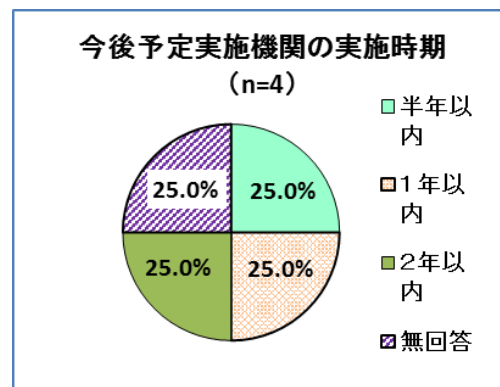


(3) 検査を実施していない主な理由 (n=9)

- ・入院期間中に暗室などの環境を整えることが不可能なため。
- ・分娩数が少なく、分娩取扱いを中止しようと思っているため。

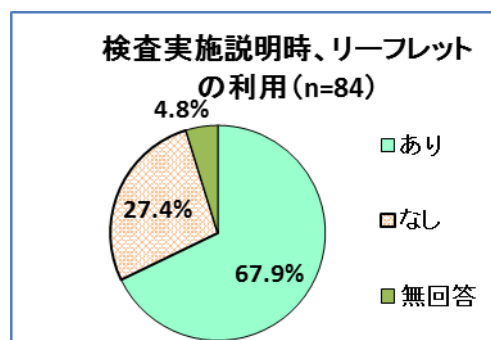
(4) 今後実施予定機関の実施時期 (n=4)

項目	回答数
半年以内	1 (25.0%)
1年以内	1 (25.0%)
2年以内	1 (25.0%)
未定	0
無回答	1 (25.0%)
計	4



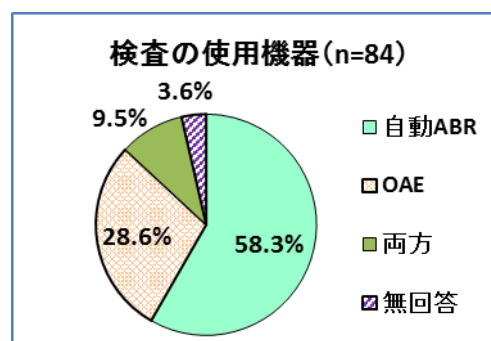
(5) 検査実施説明時、リーフレットの利用 (n=84)

項目	回答数
あり	57 (67.9%)
なし	23 (27.4%)
無回答	4 (4.8%)
計	84



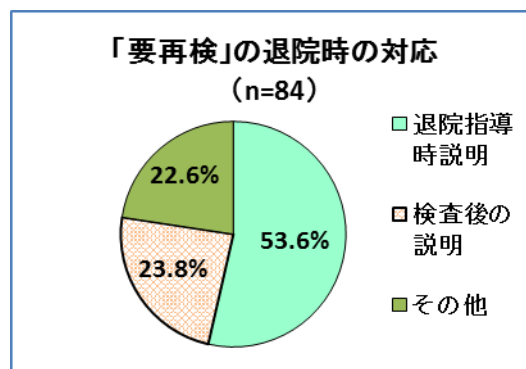
(6) 検査の使用機器 (n=84)

項目	回答数
自動 ABR	49 (58.3%)
OAE	24 (28.6%)
両方の機器	8 (9.5%)
無回答	3 (3.6%)
計	84



(7) 「要再検」となった場合、退院時の対応 (n=84)

項目	回答数
退院指導時に説明	45 (53.6%)
検査後に説明	20 (23.8%)
その他	19 (22.6%)
計	84



◆その他の内容

<病院>

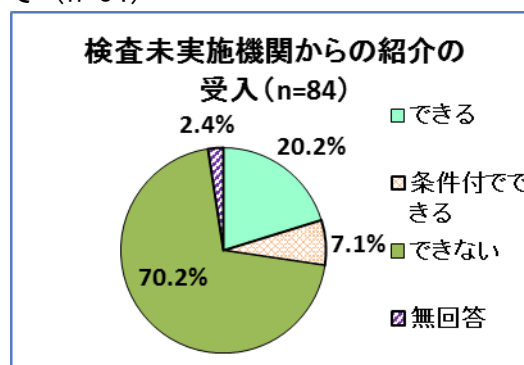
- ・ 1 か月後に耳鼻科を併診する。
- ・ 1 週間後健診と 1 か月児健診の時に再検査してもらい、「要再検」の場合、紹介状を発行する。
- ・ 1 か月児健診時に説明する。(4)
- ・ 小児科医師へ報告し、外来で再検査を行う。
- ・ 紹介状を渡し病院受診の説明を小児科医師より行っている。
- ・ OAE でリファーの場合、ABR を実施する。それでもリファーの場合、1 か月児健診でフォローを行う。
- ・ 小児科医師より耳鼻科受診を説明する。
- ・ 産後の母親は精神的に不安定なため、入院中に結果を説明しない。
- ・ 小児科医師より退院時に 1 か月児健診で面接を行う旨を説明する。
- ・ 検査後と退院時に説明する。
- ・ 2 日後に再検査を行う。結果の説明は再検査の有無に関わらず全員 1 か月児健診で小児科医師より行う。

<診療所>

- ・ 総合病院を紹介する。(2)
- ・ 再来院してもらい、再検査を行う。
- ・ 退院前までに再検査を行い、リファーの場合本人の希望に合わせて、1 か月児健診かその前の希望時期に再検査を行うことを説明する。
- ・ 1 か月児健診時に説明する。
- ・ 退院までに「要再検」の場合、小児科医師または院長により本人へ説明し、1 週間健診及び 1 か月児健診で再検査を行う。

(8) 検査未実施医療機関から紹介の受入について (n=84)

項目	回答数
できる	17 (20.2%)
条件付でできる	6 (7.1%)
できない	59 (70.2%)
無回答	2 (2.4%)
計	84



◆紹介を受ける条件 (n=6)

<病院>

- ・小児科または耳鼻科を受診する。(2)
- ・自費診療となることを了承してもらう。
- ・対応可能か問合せの上、受入をする。

◆紹介を受けることができない理由 (n=59)

<病院>

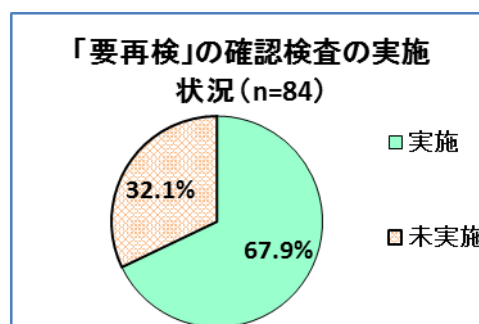
- ・人員不足 (2)
- ・最低限の検査しかできないので、再度他施設へ紹介となってしまうため。
- ・対応できる医師がいなく、機器がないため。
- ・自施設の入院患者のみを対象としているため。
- ・今までそのようなケースがないため、対応について取り決めがないため。

<診療所>

- ・人員不足 (4)
- ・検査の性質上寝ていないと難しいため。
- ・ABRに時間を要することがあり、人手不足の中、そこに人員を当てることができない可能性があるため。
- ・標榜として小児科を設置していないため。
- ・入院中に再検査を行い、再度「要再検」の場合は、退院後に再検査を行うため。
- ・分娩されている人のみを対象としているため。

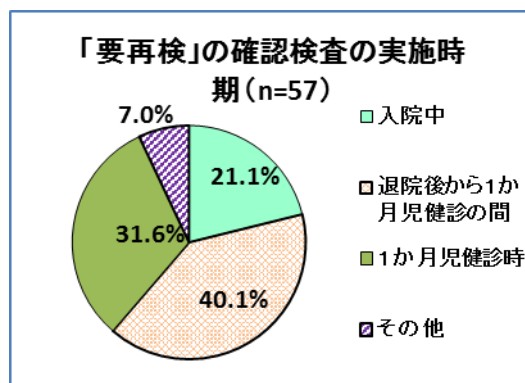
(9) 「要再検」の確認検査の実施状況 (n=84)

項目	回答数
実施している	57 (67.9%)
実施していない	27 (32.1%)
無回答	0
計	84



(10) 「要再検」の確認検査の実施時期 (n=57)

項目	回答数
入院中	12 (21.1%)
退院後から1か月児健診の間	23 (40.1%)
1か月児健診時	18 (31.6%)
その他	4 (7.0%)
無回答	0
計	57



◆未実施の場合、確認検査の実施機関 (n=27)

<病院>

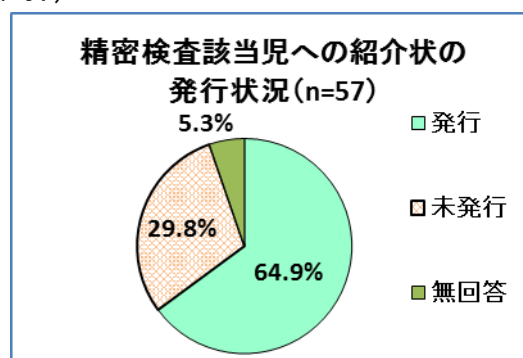
- ・総合病院及び高次医療機関 (3)
- ・1か月児健診以降耳鼻科

<診療所>

- ・基幹病院 (7)
- ・大学病院 (5)
- ・こども医療センター (3)
- ・耳鼻科のある医療機関
- ・小児科のある医療機関

(11) 精密検査該当児への紹介状の発行状況 (n=57)

項目	回答数
発行している	37 (64.9%)
発行していない	17 (29.8%)
無回答	3 (5.3%)
計	57



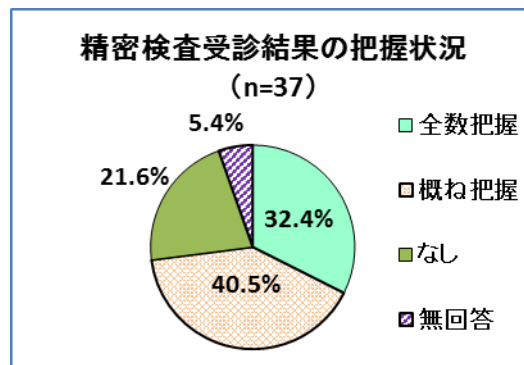
◆紹介状を発行していない理由 (n=17)

<病院>

- ・リファーマーに関しては入院中から耳鼻科が関わっているため。
- ・院内の耳鼻科に受診するため。(9)
- ・1か月児健診時、当院小児科で説明し院内で精査を行うため。
- ・生後3か月でABRと耳鼻科併診を行い、院内の耳鼻科でフォローするため。
- ・当院で精密検査が可能のため(2)

(12) 精密検査受診結果の把握状況 (n=37)

項目	回答数
全数把握している	12 (32.4%)
概ね把握している	15 (40.5%)
把握していない	8 (21.6%)
無回答	2 (5.4%)
計	37



◆精密検査受診結果の把握方法 (n=27)

<病院>

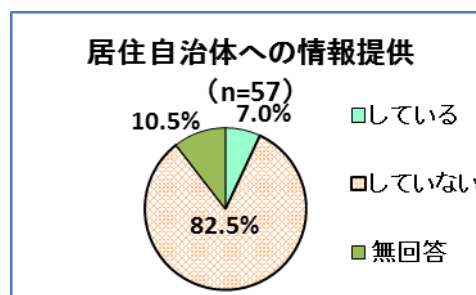
- ・紹介先から報告 (7)
- ・院内で併診しているため、カルテ上で把握 (7)
- ・退院時に検査予約を確認している。
- ・小児科で結果を把握している。

<診療所>

- ・紹介状の返事 (10)
- ・電話 (2)
- ・母乳外来来院時。

(13) 居住自治体への情報提供の有無 (n=57)

項目	回答数
している	4 (7.0%)
していない	47 (82.5%)
無回答	6 (10.5%)
計	57



◆居住自治体へ情報提供をしていない理由 (n=47)

<病院>

- ・院内フォローとなるため (4)
- ・そのようなシステムがあるのかわからない (2)
- ・精密検査を実施している施設に任せている。
- ・必要があれば情報提供している。
- ・AABR (再検査) でリファアとなるケースが多くないため特別にしていない。
- ・産科を退院の時点で確実に聞こえないと診断できないため。
- ・聴覚異常が明確でないため。
- ・特に情報提供の決まりがないため。
- ・そのようなケースがない。

<診療所>

- ・紹介先の病院から提供していると思われる。
- ・紹介先でフォローしているので、具体的な結果はわからない。
- ・情報提供が必要という認識がなかった。(2)
- ・連携体制がないので、自治体のシステムがあるのかわからない。自治体からは説明がない。自治体のシステムの中に新生児聴覚検査児のフォローをどうするか、マニュアルがあるのか、どの時期にどう拾うのか是非医療機関に教えてほしい。

